

§ 1 海の豪族～矢野荘・瀬戸内海・東シナ海ネットワーク～ 3-1

寺田一族（矢野荘 現地支配人）の拠点～海の豪族～

◆ 立場と勢力範囲

A. 鎌倉幕府での地位

鎌倉幕府の御家人（=家来）

B. 矢野荘地域では

秦氏の子孫を自称する武士（但し上野出身の説も）

矢野荘くもん公文（現地支配人 武士など現地有力者から任命される
主に公文書を扱う）

若狭野土井大避神社別当・神主・祝師職
おおさけ はふりし

C. 矢野荘以外の地域では

◆ 播磨国内では…

坂越荘（現 赤穂市内）さこし 浦分一部の地頭職、木津村島二町地頭職

※坂越荘地頭あくま飽間氏 寺田家と姻戚関係を持つ。

守護赤松氏の海運を請け負う

※初回に触れた山本氏系図に伝えられる伝承

やまもとぎょうぶきょうたかやす
山本刑部卿高安 最初、高野に、後に木津に住む

木津大避神社を建立

※千種川高瀬舟水運業者の信仰
ちぐさ たかせぶね

福井荘（現 姫路市西部） 東保 地頭職

※福井荘地頭きつかわ吉川氏 福井荘に水軍の基地を設ける

◆ 播磨以外では…

備前国くにとみ国富名地頭職（現 岡山市国富）

摂津国ずだじ頭陀寺地頭職（現 大阪府豊中市）

※摂津国くらはし倉橋荘（棕橋荘） 大阪湾に注ぐ神崎川・猪名川の合流点
交通の要衝。貴族・皇族が進出

◆播磨国・摂津国の主な港

3-2

『兵庫北関入船納帳』に記録された港

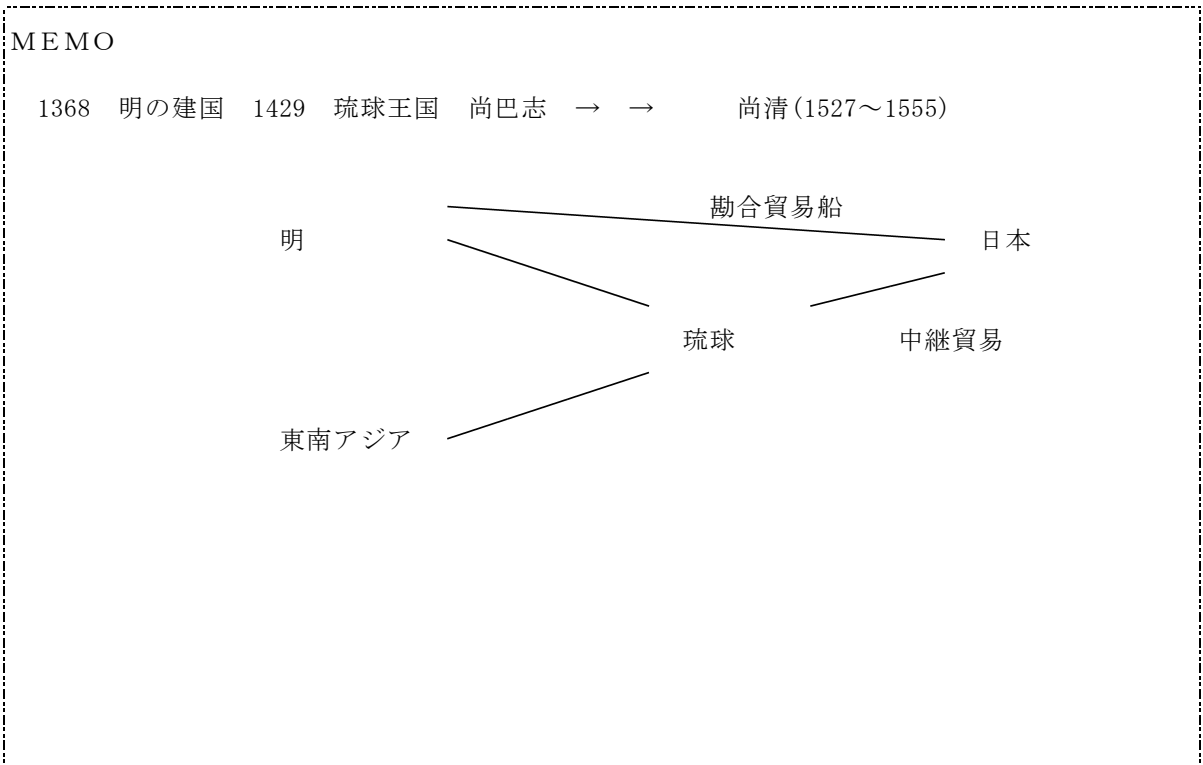
1445～1446年の通航船の所属する港

◆アジア世界ネットワーク ～矢野荘に残る記録～

守護赤松氏が矢野荘「唐ノ牛ノ皮持夫」を徴発、明石に派遣

1404年、「おきなう船」室津に入港、矢野荘から人夫を派遣

当時の沖縄は？



摂津国坐摩神社（現 大阪市中心区）

◆ここの神主は？

嵯峨源氏の末裔とする武士団

瀬戸内海地域のとうりょう水軍の棟梁

その血統から肥前国松浦党などを輩出

◆この神社はもともとどこに、この武士団はどこを拠点に

大阪市 旧淀川 天神橋～天満橋一帯

現在の大阪港から10キロ程度上流

古代・中世、大阪湾はここまで入り江として入り込む

渡し船業者を統括

おおえのみくりや

大江御厨（現 東大阪市）の現地総支配人

※御厨…天皇家の台所に食べ物・日常生活品を供給する領地

おおえのみくりや

大江御厨の場合は、魚類を提供

くごにん

※供御人…御厨の住人など、

天皇家の台所に食物を供給する人々、

手工業品など日常生活品を製造・納入する人々

§ 2 矢野荘の職人 ～ 鋳物師・鍛冶～

3-4

◆中世の職人

職人のルーツ

天皇家の供御人、その他、貴族・寺社などの支配下で手工業品などを製造・供給する人々。

次第に一般向けの営業も行うようになる。

職人の存在を示す矢野荘の地名「イモチヤ」

◆中世の^{いもじ}鋳物師

諸国を遍歴、商売を展開

廻船鋳物師

熟鉄・打鉄など原材料、

鍋・釜・鍬・鋤などの製品を持ち、

畿内・瀬戸内海・九州・山陰・琵琶湖を遍歴

遍歴先でも簡単な作業

鎌倉後期以降、次第に定住

一部は、蔵人所（天皇家の内政事務・財政を扱う）に所属する供御人
通行税免除は大きい、供御人になることを希望する者が多かった。

◆矢野荘 鋳物師

雨内・下田に銅山跡

両者ともに付近に大避神社

雨内…若狭野土井大避神社

付近に「イモチヤ」「オンヨウシ」の地名

東山麓

のうげ
能下 犬塚付近 東側からの登山口 地名 カナホリグチ

山頂付近

ぐふくきょうじ おおさけ さんのう
求福教寺・大避神社・山王神社

かなやま
①東谷に鉄山跡、正面谷（別名 鍛冶屋谷）の地名

②瓜生方面に鍛冶屋川が流れる

※「三濃千軒」の言葉 千軒…鉾山で一時的に繁栄した地の呼び名

※後の江戸時代の三濃山西谷の住人…かなじ金出地からの移住・田地開墾？

かなじ
※金出地 三濃西麓 上郡町

※江戸時代の住人 行政的にはうりう瓜生と同じ領主の支配

生活的には…

かなじ じょうこうじ
金出地の浄光寺の檀家

法事も浄光寺の僧侶を呼ぶ

「坊さん道」の地名も

かなじ
金出地 古いシキ（坑道）が残る

大正期に新しいシキを造り硫化鉄を採掘

金出地にも大避神社

三濃山と金出地は地質的に共通、生業も共通

金出地の鉾山・鍛冶関係者との結びつき？

◆千種川水系

①赤穂市木津大避神社

伝承：創建は山本刑部大夫 秦河勝とともに坂越に渡来

千種川の高瀬舟水運業者の信仰

秦氏…水上交通にも関与

水運に関連して星を祭る信仰も。

例 能勢の妙見社

周辺の猪名川は秦氏の勢力範囲

②山野里、梨ヶ原

3-6

旧山陽道に沿う。交通の要衝。

千種川…年貢輸送、播磨北部の木材輸送の動脈

※近辺には鞍位くらのそま杣

山野里で山陽道と交叉

赤松氏がここを支配下に

しばしば、赤松氏が戦時に陣を置く。

商人も集住、鋳物師の存在も確認できる。

※山野里・竹万にも大避神社

秦河勝が坂越の後に山野里に住んだ伝説

※梨ヶ原の商人刑部大夫が矢野荘農民と接触した記録

東方の神明寺付近は、砂鉄を採取した痕跡

休治きゅうじでは、鋳物の型どりに適した細砂が存在、

鋳物師が活動。

ここにも大避神社。

③上郡町岩木「鍛冶千軒」

智頭急行苔縄駅～河野原円心駅付近

室町期、赤松氏の拠点 ※自称村上源氏の末裔 秦氏一族説も

MEMO

佐用荘地頭

赤松則村（円心）足利尊氏に協力

播磨国守護 地方行政官

侍所長官 軍事・京都警察

「鍛冶千軒」の呼称、

付近に峯尾山銅山、鋳物師集団

奥に大避神社、対岸の大枝村、大枝新村にもそれぞれ大酒神社

赤松氏 佐用荘地頭以外に、水運・鉄売買に携わって台頭？

※矢野地区金堀 赤松氏が建武年間に金を掘った伝承

④ちくさのはがね

3-7

たたら製鉄…砂鉄を木炭で加熱、融解し、鋼を製造

たたら…ふいご、炉、後には炉を覆った高炉

千種町 西下野遺跡 奈良時代～

高保木遺跡 中世

天児屋遺跡 近世

良質の鋼 刀匠が好んで使用

長船景光・景政 姫路広峯神社に奉納する刀を製造

長船勝光・宗光 室町幕府将軍足利義政の命令で

千種の鋼で作刀

長船康光 赤松満祐の命令で300の刀を製造

パキスタンの大学教授

シルクロード経由でパキスタンに渡った日本刀のルーツを研究

千種をつきとめる

スウェーデン製の鋼

「ちくさ」の商品名で東京で売買

古代 山部氏が統括 バックに秦氏・和気氏